

成田市自然観察会

冬鳥の観察

谷 優（成田市）

日時：2023年12月9日（土）9時30分～12時 天候：晴れ

場所：坂田ヶ池総合公園

参加者：15名（大人11名、子ども4名） 成田市環境課職員3名

担当指導員：坂本、伊藤、井上、藤井、谷 指導員：宮崎、菅澤

12月とは思えないポカポカ陽気の中での観察会。今回は、指導者が一人1テーマを説明します。坂本さんからの、「鳥の姿だけでなく、鳥の声も聞くので静かに観察しましょう。」というお話を聞いて出発。

坂田ヶ池を見るとまず目につくのは、オオバンとカルガモです。井上さんがオオバンについて説明しました。オオバンと他のカモとの違いは何か？頭を振りながら泳ぐ独特の泳ぎ方、草食で陸に上がって草を食べる、そしてカモと違う最大の特徴は水かきにあることを判りやすい写真で説明しました。人気者のカワセミが時折飛んでいる姿を目撃します。藤井さんが、カワセミについてクイズ形式で説明しました。カワセミのオスとメスの写真を見せ、どちらがメスでしょう？メスの嘴の下半分は赤い色、口紅をつけているようでメス、なるほど覚えやすい。カワセミの食べ物や巣はどれかというクイズもありました。谷は、鳥に食べられた柿の実を見せながら、そこに集まるヤマガラやメジロについて説明しました。実際、我が家の甘柿の木に、これらの鳥がきて日々柿を食べています。坂本さんから、柿の木ほど鳥のよく集まる木はない、という補足説明がありました。池の上にかかる浮き橋に行くと何種類ものカモが泳いでいて絶好の観察ポイントです。マガモ、コガモ、カルガモ、オナガガモ、オオバン、ハシビロガモなどが見られます。ここでは、坂本さんからカモの特徴について説明がありました。遠くに見られるカモは何か？「カイツブリかな？」「ミコアイサのメスだ。」たくさんのカモやカワウなどに会い、大いに盛り上がりました。

林の下の遊歩道では、コゲラ、メジロ、シジュウカラなどの小鳥がたくさん見られました。暗い森の中なので安心なのでしょう。池から離れ、上の畑に出ると畑の土に動物の足跡が。鳥の足跡、野ウサギの足跡、大きいのはタヌキでしょうか？セグロセキレイ、ハクセキレイをみて観察会は終了。参加者の感想です。

- ・カモがこんなにたくさんの種類がいて、びっくりした。
- ・鳥を声で聞き分けられるようになりたい。
- ・こういう観察会の回数を増やして欲しい。



カワセミのクイズ



カモがたくさん！



小鳥を発見、何かな？



動物の足跡